

# 長 蓮 寺 報

NO. 4 (平成11. 12. 7)

## 幸せについて

歳をとるごと一年一年、年を送るということが共に切実に感じられます。

小さい頃はお正月が来ることが待ち遠しくて「早くお正月が来ないかなあ。」と思ったのですが、年を重ねる毎に「もう今年も終わってしまうのか。早いものだ。」と言う惜別の念にも似たような感情がこみあげてきます。さらに今年は90年代最後の年、来年は二千年と言う新しい時代に入るということで、いつもの年より大きな節目という感じが致します。

皆様は今年の年末をどうお過ごしでしょうか。？

最近、よく私は「幸せ」とは何だろう。良く考えます。

御会式にもお話しいたしましたが、中国の昔からの言い伝えに幸せの条件が3つあるとされています。「福」・「禄」・「壽」の3つです。

この中の「禄」とは、お金・経済のことです。今の日本は、バブル崩壊後不景気とは言っても世界でも指折りの豊かな国に入ります。豊かすぎて使い捨てが激しくゴミ問題などがありますが、今の日本は「禄」は世界一といえます。

「壽」は、命・健康です。医療の目覚ましい発達もあり、日本人の平均寿命は80を越え、

「壽」もこれまた世界一と言えます。「禄」・「壽」とともに恵まれている私達なのに何故、最近 凶悪且つ残忍な事件が増えているのは何故でしょう？

最近、巷では東京の文京区で小さい2歳の少女が同じ幼稚園に通う子供を持つ母親に殺され、テレビのワイドショーをにぎわしています。「お受験」でとか対人関係の悩みの末、とか色々取りだたされてはいますが、同じ2歳の子供を持つ身として人ごとではなく、とても残念でなりません。

こういう事件を聞くとやはり、今の日本は「福」が足りないんだなあ。と実感する次第です、「福」とは良い人間関係に恵まれているかどうかなのです。

テレビのドキュメンタリー番組でアフリカの先住民族の村長さんがインタビューを受けていました。

「あなたにとって幸せとは」の問いに、

「私の部族では幸せという言葉はない。幸せという言葉はあなた方の世界で使っている言葉であえて言葉にするなら、みんなが健康で賑やか。みんなが楽しい。あなた達の幸せは自分だけと言う意味合いが強い。自分が幸せと言う言葉は変だ。みんながいての自分だろう。」

そうなのです。これからは、人間関係、一期一会といった色々な方々との出会いをより一層大切にしなければならぬのが来る21世紀に向けての私達の課題ではないでしょうか？

皆様にとって平成十二年が幸多き年になりますように。

合掌

### 平成12年 年忌表

一周忌	平成11年	十七回忌	昭和59年	三十七回忌	昭和39年
三回忌	平成10年	二十三回忌	昭和53年	四十三回忌	昭和33年
七回忌	平成6年	二十七回忌	昭和49年	四十七回忌	昭和29年
十三回忌	昭和63年	三十三回忌	昭和43年	五十回忌	昭和26年

# 長蓮寺の基礎知識Q & A (本尊編)

## Q: 私達の仏様 (御本尊) について

私達、法華宗の仏壇を他宗の人が御覧になると、「法華の仏様 (御本尊) はどの仏様ですか?」と、訊かれるときがあります。時には、日蓮様の御尊像を指して「この方が仏様ですか。」と聞かれます。他宗 (特に浄土真宗門徒) の御仏壇には阿弥陀様が一体飾られているだけですが、本宗 (法華宗) の場合、仏様が沢山いらっしゃって解らないのだそうです。



長蓮寺の仏様方

確かに沢山仏様が  
いらっしゃって解りづら  
いさて、**仏様 (御本尊様)** は  
どの方?

私達 法華宗の仏様 (御本尊様) は久遠実成の  
釈迦牟尼世尊 (お釈迦様) です。

また、仏様を表現するのに文字で表すのと仏像で表す2通りあります。

### ① 十界勸請大曼陀羅御本尊 (文字での表し方)

日蓮聖人が文永10年 (1273) 佐渡に流されて  
いらっしゃるとき初めて現された御本尊で、  
俗にお曼陀羅と言います。  
私達の世界を含めた、あらゆる世界がこの御本尊  
には示されていて、その世界を  
お題目 (南無妙法蓮華經) の光に照らされている  
様子が描かれています。

よく他宗の方で、「法華の御本尊様がお釈迦様と言うけれど  
お釈迦様なんてちっちゃくしか書いてないじゃないか。」  
と言われる方もいらっしゃいますが、  
お題目 (南無妙法蓮華經) = お釈迦様のお心 なのです。



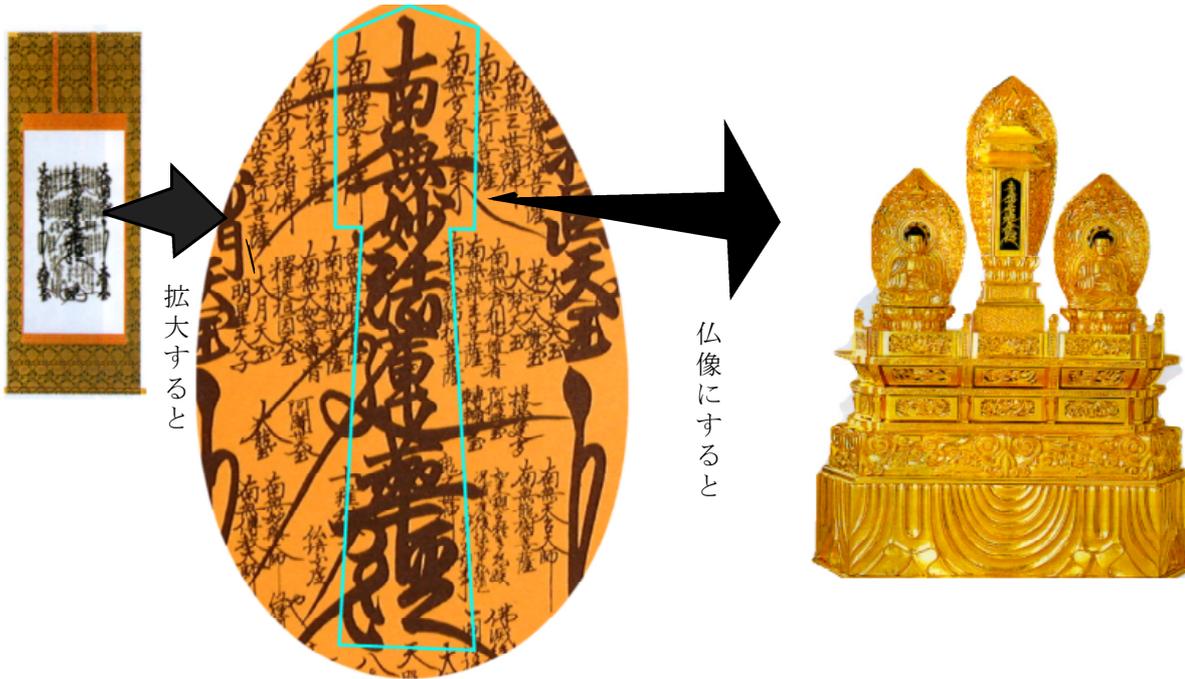
十界勸請大曼陀羅御本尊

② 一塔両尊御本尊（仏像でのお表し方）

本来は、先程のお曼陀羅に書かれている仏様方全てを仏像にしてお飾りし、お祭りすれば良いのですが、仏様全てとなると、数十体にもなり、大変なことから、

お曼陀羅の中心である南無妙法蓮華經の塔とその両脇のお釈迦様と多宝如来様がお座りになっているお像

（難しい言葉で一塔両尊像、一般的には三宝様と言う）をお飾りいたします。



一塔両尊（三宝様）

本来はどちらか一方をお飾りすればよいのですが、一番奥にお曼陀羅、その手前に一塔両尊像、その前に日蓮聖人座像をお飾りすれば、より丁寧な飾り方となります。

つまり、法華宗の仏壇には以下三種の何れかの形態で仏様をお祀りいただきたいものです。



お曼陀羅と日蓮聖人



三宝様と日蓮聖人



お曼陀羅と三宝様と日蓮聖人  
（より丁寧な飾り方）



## ◎春の京都旅行

4月の11～12日にかけて富山の3か寺合同（本寿寺・本陽寺・長蓮寺）で京都方面へ旅行に参りました。当初は関西教区の「万人講」（於 京都の別院本禅寺）に参拝に行く計画でありましたが今年に限って万人講が一週間遅くなった為、万人講にはお参りできませんでしたが、京都の都踊りや、比叡山など参詣いたしました。

特に、宿泊したホテルでは、隣で宴会していらっしゃった団体さんが異常に盛り上がっていて、私達の旅行参加の方々も食事も宴会もそっちのけでみんな隣の宴会を見に行ってしまうました。とても目の保養になったのではないかと思います。（\*^\_^\*）

残念ながら選挙の日と重なったため、参加の方々は少な目でしたが、また、近々旅行を計画いたしますので 沢山の参加をお待ちしております



（京都 本禅寺様本堂前にて ）

## ◎平成十二年新年会のお知らせ

1月7日午前11時より**新年会**を開きます。  
ご希望の方は別紙の申込用紙にご記入の上お申し込み下さい。  
カラオケなども用意しております。  
皆さんの御参加をお待ちしております。

また、毎月7日午後1時より**お経の練習会**をひらいております。参加費無料になっておりますので気軽にお越し下さい。